

松保地区 地域の未来づくり懇談会 開催概要

- 1 日時 令和7年7月25日(金) 18時30分～20時00分
- 2 場所 松保地区公民館
- 3 出席者 地区24名 市7名【危機管理部長（危機管理課）、市民生活部長（協働推進課）】
- 4 テーマ 地域住民による災害対応強化について

5 概要

【地元あいさつ】

一昨年(令和5年)の7月13日の「高住地区ただちに避難せよ」という防災無線に、地区住民は非常に驚いた。地区公民館にも具体的な連絡もないまま避難命令が出された。後々聞いたところ、大正地区は千代川の土手がもう1メートルほどでオーバーフローするということだったようだが、地区公民館に避難したところ地区公民館は開いていなかった。このような状況を踏まえ、その年の秋に岡山県真備町へ見学に行き、防災について地域づくり協議会で本気で考えなければいけないという流れが地区内に芽生えてきた。

本日の未来づくり懇談会は、地区で一番困っていることとして、吉岡鹿野断層の問題を抱えている松保地区の「防災問題」に特化してテーマを設定した。地域住民の不安を解消する拠点は地区公民館であるといったことを踏まえて、市と顔を合わせながら本気の議論ができればと考えている。一朝一夕に解決できる問題ではないかもしれないが、よろしくお願ひしたい。

【市民生活部長あいさつ】

平成30年10月の地域づくり懇談会でも、地域の活性化と防災力の向上というテーマで議論いただいた。平成30年は、台風や豪雨など災害が続いた年だった。

松保地区では十数年前から地域防災フェスタなど、自主防災会が中心となって地域防災力の向上に取り組まれている。まちづくり協議会の地域の課題として、災害時の地域防災力の強化と住民の防災意識の向上をあげていただくなど、防災意識が非常に高い地区だと思っている。

令和5年度の災害を受け、それまで自主防災会が実施されていた避難訓練を、まちづくり協議会全体で取り組まれている。昨年、一昨年と大規模な避難訓練を実施されており、訓練後の課題は次年度に繋げる大変素晴らしい取組だと思う。本日はこの経験から得られた知見をお聞かせいただけるのではないかと期待しているところであり、皆様と一緒に地域防災の取組を進め、次世代の子ども達に安全安心なまちづくりを引き継いでいきたいと思っている。

テーマ 地区住民による災害対応強化について

【地元(説明)】

一昨年避難指示があった際の避難所開設に課題があったこと、その他諸々を含め、地区全体での避難所開設運営訓練を昨年度行ったが、まだまだ体制としては不十分と言わざるを得ず、多く

の課題が判明した。こうした状況で地区住民の安全を確保し、災害対応についてより迅速かつ適切に対応できるようにやっていきたいという思いからこのテーマとした。

《地域の取組》

松保地区では、従来から自主防災会や連絡協議会が中心となって集落ごとに避難訓練を行い、現在も毎年続けている。

一昨年の避難指示が大規模訓練への道筋となったが、実は令和3年に地区災害対策本部の設置を明文化しており、何かあれば災害対策本部を立ち上げるというような形ができていた。令和6年は災害対策本部として、避難所開設運営実践訓練を実施し、課題や問題点が浮かんできた。

避難所で一時的に必ず必要となる各種備蓄品について、これまでは各団体が予算の範囲内で必要な物を揃えてきたが、松保地区として一本化しようという話になり、各団体が持っている備蓄品をリスト化した。それでも不足している物品について、徐々に揃えている状況である。その中で課題・質問として4点挙げさせていただきたい。

《課題・質問》①

避難所運営マニュアルは、避難所開設にあたり住民、施設管理者、市の連携を効率よく早急に実施していかなければならないと記載されているが、具体的な対応策を教えていただきたい。また、広範囲に及ぶ大災害の際は市職員を派遣して避難所運営を行うと書かれているが、職員の到着が遅れることが想定される。住民の安全を考えれば、とにかく早く避難所を開設しなければならないが、そういった場合の具体的な対応策を教えていただきたい。

【危機管理部長】

一昨年の災害の際、避難したいが鍵が開いていないということが鳥取市の至る所で起こった。反省点を踏まえ、対策をしているところである。避難のタイミングについては、防災無線などの媒体を使用し、レベル3の高齢者避難から緊急の避難指示まで、市が責任をもって発出していく。

本市の新しい取組として防災アプリを導入した。このアプリをダウンロードしていただくと、緊急放送が強制的に入る。アプリやニュースから危険を察知し、独自に動いていただく体制をとっていただくのがよいと思う。

また、松保地区は9名の防災リーダーがおられ、防災リーダーには鳥取市からメールが直接届く体制となっている。地区のキーマンに対する避難情報の発出については、ICTを活用して進めていきたいと思っている。

いきなり大地震がきたら市職員もなかなか動けないが、とにかく避難所を開設しなければいけないというのは、地域と同じ気持ちである。風水害は事前に想定できるので、早い段階から避難所に行く職員を決めて送り出す体制を取っている。地域の皆様と同じようなタイミングで職員も到着できるよう、内部体制を見直している。

松保地区では、松保体育館、県民体育館、松保地区公民館が指定緊急避難場所となっており、松保地区公民館は土砂災害に引っかかる。県民体育館や松保体育館は少し距離があるが、皆さんがそれぞれ前もって気象情報を入手していただき、危なそうだと思うれたら早め早めに避難していただけるとありがたい。

【地元】

担当者がある程度決めているとのことだが、広い鳥取市内に職員を配置できるのか。三者が連携するのであれば、市として災害が発生する前に、事前に地域と顔合わせするとか、松保体育館にどのような備品が配置されているか把握することが必要ではないか。担当職員が日頃から連携を取っておかないと、災害が起きて2、3日後に現場に来て、市災害対策本部との連絡係のような役目程度になるのではないか。運営がスムーズにいくために、市としてどのように考えているか。

【危機管理部長】

400以上ある避難所に4、5人以上配置するのは、市職員の人数的では足り苦しい。市災害対策本部において避難所班は福祉部が担当しており、避難所を開設するとなれば、福祉部から職員を選抜していくことになる。ご発言のように日頃から関わりあうことができればよいが、現時点ではなかなかそういう形にはなっていない。

たとえ地域の皆様に先に地区公民館を開けていただくことになったとしても、市職員も極力早く現場に駆けつけ、到着後は職員が主になって運営をしていくつもりである。また、自主防災組織や地域の方々としっかり役割分担して避難所を回していきたい。日頃から連携を取るとするのは難しいところもあるかもしれないし、行政だけ、地元だけでも難しいところもあるかもしれないが、その場で市と地域が連携しながら避難所を運営していけるよう、我々も引き続き、職員に啓発していく。

【危機管理課】

市職員の避難所到着が遅れた、地域のことがよく分からない職員が来て動きが十分できなかったといった過去の反省を踏まえ、今年度取り組む「避難所環境等緊急整備事業」についてご紹介したい。

大規模災害では、市職員の避難所への到着が遅れ、避難所が開設できないことがあったが、遠隔操作で鍵を開けるシステムの導入に向かっている。これは大規模災害を想定しており、小・中学校が対象となる。小・中学校の玄関に、玄関の鍵を入れたキーボックスを入れ、市役所の遠隔操作で開けるか、地震の際は例えばJアラートや震度と連動し自動でキーボックスが開いて鍵を取り出せるといった仕組みである。これにより、市職員の到着が遅れても、先に来られた地域の方に避難所の鍵を開けていただくことができる。

また、懐中電灯や平面図、筆記用具、ビブス、マニュアル、受付簿など、避難所開設時の初動に必要なものを一つの箱にまとめた「初動対応ボックス」を玄関の内側に配置する予定である。

極端に言えば、市職員がいなくても、自分たちで避難所運営ができるといった訓練をしていたらスムーズに連携できるのではないかと思っている。本日はご紹介した「避難所環境等緊急整備事業」の対象は、地区公民館ではなく小・中学校ではあるが、参考にさせていただきたい。

【地元】

災害等が発生したが地区公民館の鍵が開いていないなど、初動対応で市と連携したい時に松保地区の窓口となる、担当部署や連絡先を把握しておきたい。

【危機管理課】

初動ということであれば、市役所代表電話番号に電話していただき、コールセンターが答えられない部分であれば、対策本部内の情報部が用件を承って必要な部署に繋げることになる。

【地元】

万が一の時のためにと、小学校の鍵を地区公民館に貸していただいている。この遠隔操作で開錠するシステムは市が操作すると思うが、現在借りている小学校の鍵はそのまま借りておくことができるか。

【危機管理課】

地区公民館にお渡ししている鍵は、教育委員会がお預けしているものである。遠隔操作で開錠するシステムを進める背景として、地区公民館が施設の鍵や地域の個人情報預かる負担の軽減といったこともある。そのことから、システムの運用が始まれば、地区公民館に預けている鍵はお返しいただく予定である。

【地元】

松保地区には小学校も中学校もないが、どこに配置されるのか。

【危機管理課】

松保地区周辺では、世紀小学校と湖山小学校を想定している。

県民体育館は避難所として使用しているが、県施設のため、市による自動解錠の仕組みの導入は難しい。必要な備蓄などについては、今後も県と調整していきたい。

【地元】

他地区と比較して、配置が薄いのではないか。松保地区公民館や松保体育館に設置することはできないか。

【危機管理課】

実際に、避難所として県民体育館を使用させていただくことが多く、備蓄を置かせていただきたいと考えているが、市有施設ではないところの難しさがある。現在、県に働きかけをしているところである。地域からもそういった声を出していただけるとありがたい。

【地元】

大雨による高江町の土砂崩れの際に、防災無線で「直ちに松保体育館へ避難してください」と案内があり向かったが、何の準備もされていなかった。避難指示が出たら、何の準備がされていなくても、とにかくそこへ行けということか。

【危機管理課】

その時は、高住の池の近くの丘のあたりが崩れているという情報があり、急遽避難指示を発出した。避難所を開設できる状況になってから避難情報を出すということも一つの考え方としてあると思うが、それをしていたら、助けられた命が助からないということも十分にある。特に土砂災害なので、「直ちに避難してください」と呼び掛けないといけない状況であると判断した。危険な場所から避難することが第一なので、必ずしも避難所でなければいけないということではない。「分散避難」という言葉もあり、安全な場所であれば、知り合いの家やお宅でもよい。ただ、市として避難所を開設することも必要なので、体育館をご案内したもの。

呼びかけの形については改善の余地があるとは思っている。防災行政無線での呼びかけが長文にならないよう、短文で呼びかけるようにしている。

《課題・質問》②、③

【地元】

②鳥取市では、避難所環境等緊急整備事業で必要な資機材を揃えていくと聞いているが、具体的に松保地区の2つの指定緊急避難場所への配備予定について教えていただきたい。それを受けて、松保地区でそろえていく備品について検討していきたい。

③避難所における物資の備蓄整備の状況について、他の地区がどうされているのか参考に教えていただきたい。また、松保地区では少ない予算の中で備蓄品の整備を進めていこうとしているが、市でどのように関与してもらえるのか教えていただきたい。

【危機管理課】

②について、避難所環境の整備改善を目的として、避難所の備蓄品の拡充を進めることとしている。市役所の備蓄倉庫に収納できる物品にも限りがあるため、各小中学校に分散備蓄し、災害発生時には、必要などころに必要な物品が届くようにしたいと考えている。

具体的な物品の中身としては、

- ・プライベートテント2個

簡易トイレの上にかぶせて、目隠しや更衣室として使用できる小さなテント。

- ・簡易ベッド20個

段ボールベッドは組み立てに時間がかかるが、簡易ベッドは開けばすぐ使用できるもの。能登半島地震では、床にごろ寝するような避難所は埃が舞ったり腰が痛くなるなど劣悪な環境であり、そこから体調を悪くされることがあった。そういった環境を改善するため、簡易ベッドの配備を基本に考えている。

- ・パーテーション10個

それぞれのパーソナルスペースを確保し、目隠しになるもの。

- ・IHコンロ

食事を大量に調理することまではできないかもしれないが、ミルクを温めるなど、最低限のことに使用できるもの。

- ・ポータブル電源

停電になっても、最低限の連絡手段としての携帯電話を充電することなどが可能。

以上を、市内の全ての小・中学校に配備したいと考えている。ポータブル電源は各地区公民館にも1個ずつ配備する予定にしておき、普段から地域の皆様にもご活用いただければと考えている。使用方法等は、またお示ししたいと思う。

現在、各小学校には、防水シート、トイレトペーパー、生理用品、保存水、折りたたみベッド等を準備している。それとは別に扇風機4台とコードリール、発電機等を配備している。

数が十分でないと思われるかもしれないが、これは初動に必要なものということであり、その後は実際の避難者の状況や人数等に応じて市役所から必要な物品を搬送し、十分な数がいき渡るようにしたい。

【地元】

各小学校に配置とのことだが、小さな地区なら1つずつでよいが、松保地区は距離が離れており、市の考えは非常に粗末な感じがする。

また、整備の早い段階で地区公民館に内容を示して協議するくらいでなければ、松保地区は地区の財源を削って物品を揃えているのに、もう少し考えてほしい。

【危機管理課】

市の整備内容を早くお示しすれば、地域で用意される物品の判断材料にもなると思う。今後注意したい。

【地元】

配置数について、例えば世帯数で按分して配置するなどの対応をするべきである。災害はいつ発生するか分からないからこうしてみんなが何回も会合して議論している。その点はいかがか。

【危機管理課】

避難所環境等緊急整備事業は、国の新しい交付金を活用して、今年度初めて取り組んだものである。来年度の国の交付金の見通しは立っていないが、これで終わりということではなく、そういった財源も活用しながら拡充していきたいと思っている。

【地元】

交付金や災害特例ばかりを頼っていてはいけない。他の事業費を削ってでも取り組まないといけない。行政対応の遅れとはそういうことではないか。

【危機管理部長】

不十分だと言われるのももっともであるし、校区の人数によっては不足というご意見もその通りだと思う。継続して取り組みたいと考えており、配分の見直しも含めて改めて検討したい。

【地元】

市内にはたくさん避難所が設定されている中で、配置を小・中学校に限定した理由は何か。

【危機管理課】

念頭にあるのは能登半島地震である。長期の避難が必要になるような場合、地区公民館は避難者のために確保できるスペースも収容人数も限られる。小・中学校は、校庭が駐車場として使用できることもあり、大規模災害を想定し、敷地やスペースの広さから小・中学校を対象とした。

【地元】

前回、松保体育館に避難せよと指示したということは、市としては松保体育館を避難所と判断していると解釈してよいか。だとすれば、松保体育館に物品を整備するのは当然ではないか。

【危機管理課】

理想としてはそのとおりであるが、現在取組を始めたところでもあり、優先順位をつけて進めている。松保体育館にも整備していきたいとは思いますが、分散備蓄を行えば行うほど、数年後の更新作業も発生する。置いたら置きっぱなしにならないよう責任を持って管理する必要があり、併せてスペースの問題も考えながら準備を進めていきたいと思っている。

【地元】

県民体育館も避難所になっているが、鳥取市は県民体育館の備品は把握しているか。

【危機管理課】

市が把握する中では、特別なものは用意していないと認識している。物資を置かせていただきたいと考えており、現在調整中である。

【危機管理部長】

③の他地区の取組について、備蓄品を保管するスペースが必要なこともあり、なかなか地区公民館レベルでしっかりとした備蓄をされているところは少ないと思う。日頃から連携していくというのは同じ気持ちであるので、松保地区にどういった備蓄品があるか危機管理課に事前に教えていただければ、災害発生時に避難所班の担当エリア職員に情報伝達できると思う。

【地元】

少なくとも、ここにいる関係者は地域住民の命を守るためにどうしたらよいかといろいろ苦労し、地域で必要な備品を揃えている。お互いが認識しながら、それぞれが動かないといけないのではないかと思う。地区の取組を知っていただきたい。

【危機管理部長】

松保地区のように経費をかけ、計画的に備蓄品の整備をされている地区は少ないのではないかとということで申し上げたが、鳥取市の補助事業を活用して備蓄品を整備される取組は他地区でも増えている。表現について、訂正させていただく。

《課題・質問》④

【地元】

食料や水など消費期限があるものの保管が難しい。物置などはかなり高温になり、メーカーも高温下では既定の消費期限の保証はできないと言っている。保管場所について、良い事例があれば教えていただきたい。

【危機管理部長】

この高温下で本市でも食料品、備蓄の保管には頭を悩ませており、適切なお回答ができかねる状況である。

《課題・質問》その他

【地元】

松保体育館が避難所に指定されているが、地形のことも深く考えずに「避難所ありき」で指定されているのではないかという思いもある。

今後も小・中学校を中心に備蓄品を整備していくのであれば、たとえば東里仁の住民であれば世紀小学校に避難せよ、でよいと思う。実際には東里仁は、イナバ自動車学校と協定を結んでいるが、東里仁は世紀小学校とそう距離がないので、世紀小学校に避難してくださいと言えばよいのではないか。また、田園クリニックなど大きな建物も建っているので、喫緊の危機が迫っていたらそういった所でもよいと思う。

松保体育館の駐車場も広いが、避難所ありきではなく変えてもよいのではないか。県市の連携がうまくいっていないところはあると思うが、松保体育館はやめて県民体育館にすればよいと思う。見直しをする考えはないか。

【危機管理課】

防災マップで色がついているところが浸水想定エリア、数字は指定緊急避難場所で災害時に命を守る行動を取るために活用いただく施設である。松保地区周辺では、松保体育館、県民体育館、松保地区公民館、世紀小学校などを指定緊急避難場所として指定しており、実際の災害の状況や河川の水位などの状況を踏まえて、どの避難所を開設するかをこの中から選んでいく。2年前、高住の方で土砂災害の恐れがあると話があった時には、松保体育館を避難所として指定した経緯がある。

防災マップに何も色がついてないところは安全なエリアである。例えば、鳥取駅周辺の中心市街地は色がついていて浸水の恐れがある区域だが、それと比較して松保地区は市内でも安全な方のエリアだと思っている。多くのお宅では、水害で避難する必要がないようなエリアである。

松保体育館も安全なエリアにある。避難していただくには安全なところが一番なので、松保体育館を避難所から外すことは考えていない。避難所開設の際は、その時々で状況で適した場所に開設していきたいと思っている。

世紀小学校は色がついたエリアにあるが、地震の時には世紀小学校を活用するし、水害の時に避難所として使う場合は、二階以上に避難していただくことになる。

できれば色のついてないところに避難していただくのが安全なので、避難所の数を減らすのではなく、なるべく増やしていく方向で考えている。

【地元】

情報提供のあり方、捉え方について。本日の会の冒頭から何回か、一昨年災害について、「鳥取市高住の災害」という表現があった。住所上の地名は鳥取市高住だが、活動区域としては高江町である。

市としては住所での表現がより適切と捉えるのだと思うが、地域住民としては、細かい部分まで知らせていただきたい。

【危機管理課】

このことは、避難情報を出す時には大変悩むところである。実際に地域の方が慣れ親しんだ町内会名がよいという考えは理解するところではあるが、一方で、そこに慣れ親しんでない方にとっては、浸透していない町内会名で案内すると逃げ遅れにつながるといった意見もあり、基本的には町丁目で表現している。

本年4月から鳥取市の公式防災ポータルを開設した。検索エンジンで「鳥取市防災ポータル」と検索していただくと、鳥取市の防災情報に特化したページが出てくる。地図上で、避難情報発令地域を確認することができる。防災アプリにもリンクを貼っている。どの地域に避難情報が出ているのか、言葉だけでなく地図でもご確認いただけるようになったので、ぜひご活用いただきたいし、周囲の皆様にも周知していただけるとありがたい。

【地元】

避難指示の発令の際、場所を指定して避難させるような表現は使わないと思う。「避難所をここに開設しているので、行ける所に避難してください」という指示をしていると思うので、そのあたりは誤解がないようにしなければいけない。

避難指示の時の放送の表現の仕方についても、市民の命を守るために正しい情報発信をしてほしい。

【危機管理部長】

放送を聞かれる皆様の誤解がないよう、考えていきたいと思う。

【地元】

良田に住んでいるが、松保地区公民館まで避難しようすると遠い。防災マップを見ると、良田は浸水地域でもなく、わざわざ避難する必要もない。他方、大地震はとにかく大変で、具体的な想定被害ごとに避難の仕方をシミュレーションして考えておくべきだと思っている。市も、被害の種類によってどのような避難行動があるべきか整理し、住民に情報提供してほしい。

先ほどから避難所開設の話が続いているが、例えば良田には、一時避難所としては公民館もあるし、生産組合、いわゆる作業場もあるので、そういう所に緊急避難し、もう少し長期になれば松保まで行かなければいけない。

避難所ありきでなく、地域自らが考えて、これぐらいの想定被害ならとりあえず一時避難所として近くの公民館に行く、もっと大きくなれば本当に避難所まで行くといった柔軟な対応ができるよう、もう少し地域に徹底してはどうか。

良田で防災プランを作ろうと考えているが、避難所ありきで松保に行くということをせず、とにかく近くで緊急避難することが第一だと考えている。

【危機管理部長】

結局は、どうやって命を守れるかである。避難所は、鳥取市内に400か所以上あり、どこに避難していただいても構わない。逆に、他地区から松保地区公民館や県民体育館に避難される人ももちろんある。市民一人ひとりの皆様に、まず命を守る行動を取っていただきたいというのが願いである。

市民の皆様にシミュレーションをしていただきたいと思い、防災アプリの中に「マイタイムライン」という、シミュレーションしてご自身で調べていただく機能も設けている。

良田集落では独自に避難計画を作られるとのことで、それぞれの地域にあった避難の仕方を考えていただき、地域の皆様が共有できる体制が取れば、一番素晴らしいことだと思う。

そういった取組をされていることをしっかりと認識させていただき、参考にさせていただきたい。

【危機管理部長あいさつ】

防災一つをテーマに議論させていただき、多くの叱咤激励もいただいたと思っている。我々も地域の皆様も、災害が発生したら命を守っていくという思いを同じくすることがまず大切だと思う。今日のように皆様方からたくさんのご意見をいただいたことを大変嬉しく思っている。

引き続き、市の防災についてのご意見等を賜りたいと思う。